

労働災害防止論文

プロセスデザインで労働災害を防止する

是永和夫

国民の心の財をもって国家の富とする
国家の真の富は人の成長にあり、人格の向上にある
事故が起きない、残虐な事件がないということは国家の富である
これが私の思いである

警備業に従事してはや7年になる
この間、建設現場、土木工事、護岸工事、マラソン大会、花火大会等のイベント行事
多様な経験をしてきた、当事者ではないが現場で事故がおきたこともある
ありとあらゆる条件が重なり合って事故は起こる
だから大事なことは、なぜ事故が起こったのかという問いをたて、考え抜くことである
問いを立てることで思考する、思索することが訓練づけられる
人は訓練され、悩んで人生の骨組みができていく
成長によって労働災害を防ぐ、起こさせないことが最もコストのかからないことである
では三つのプロセスデザイン、フェーズを見てみよう

一つ目がなぜ事故は起こるのか？

問いを立て、問答する、思考する、動機づけする行為 whyのプロセスである

このフェーズは考え抜く思考回路を脳の中に刻むことで、より現場の様子をリアルに想像し、理解することにある

- あなたは道路上の警備員の姿を見て何を感じますか
- 過去のヒヤリ・ハット事例、事故から学ぶ 危険予知の図解化等

工事現場の交差点で車のバック誘導時、車と警備員の間を猛スピードで通り抜けた自転車があった

このハットする現象からなぜ通り抜けたかを考えてみると

- ・後方の自転車の有無の確認ミス
- ・交差点での複雑な往来の知識欠如等

では対策は、バックするのではなく車を前進させる、歩行者・自転車が安全確保されるまで車を移動させない等、いろいろな対策が出てくる

- ドライバーから誘導灯はどの位置、どのような操作が見やすいか
- 五指はどのようにするのが、歩行者にとって丁寧に感じるか

これも問いである

建設現場で足場材が倒れた
何故足場材が倒れたのか？

プログラム構文でif文というのがある
条件で分岐させて、行動を促す しかし
Ifの前に徹底的に問いをたて、問答することである

“なぜ”という、この問いこそ重要である

なぜ鳶職人は、ばんせんで、しっかり縛って整理して積み上げていなかったのか
ものは倒れる、的確な養生をしなければ必ず事故が起こるということである
しかし物事は単純に起こるわけではない
だからこそ問いが大事になる
ヒヤリやハットを単なる現象と拘らえるのではなく
なぜそのような状況が生まれたのか

“なぜ”を加えるだけで
回答がより重厚的になり、的確になって行く

マンションの理事長をやっている時、朝の挨拶の励行、ゴミ収集場所の徹底清掃を
行ったことで治安が良くなりマンション価値が上がった経験がある
これもなぜ治安が悪いのかという疑問からの出発である

“問い”をたて思考し、真偽を確かめ、考え抜く

これが一つ目の事故回避の動機付けのプロセスデザインである

第二のステップは腹落ちさせ、実行する、行動する行為 doのフェーズである

“なぜ”をどんなに積み重ねても安全確保はできない
具体的に行動して価値を産む作業が必要である

警備員心得なるものを発行しているところもあるが、安全教育の徹底、行動指針が大事になる

建設現場であれば、

○今日の工事車両の種類、数量、搬入場所、警備員のリスクアセスメントの手順

○予想される危険性、危険を防ぐための行動

この一連の流れが体に刻み込まれてはじめて労働災害ゼロが実現されるのである

どんな警備員になりたいか

“ありがとう”と感謝される警備員になりたい皆が思うはずである

人格、態度、技術で行動し災害ゼロにする実践場が第二フェーズである

第二フェーズからより進歩、向上を目指すのが第三フェーズである

第三フェーズは、今日より明日、明日より明後日 アップデートして行く行為
update のプロセスである

警備員の着任場所はアップデートしていく場所である

警備業法には警備員には何ら権限がないことが明記されている

権限がないことで価値の創出が無限になる

これはメリットである、自分の成長で労働災害をなくすことができる

プロセスデザイン手法、頑健な身体、強靱な知性を授ける

これが真の警備業である

大聖哲は言った

「一生虚しく過ごすことなかれ」

なくてはならない業、いなくてはならない人になる

コロナ禍、経済紛争、世界が混乱におちいる中、今ほど個人力が必要な時代はない

一人ひとりが成長因子を育み、社会に貢献することで労働災害は軽減すると確信する

それが真の国家の富である

この業に、私の仕事が一助でもなる事が念願である